

沖地ネット

行政活動紹介

～尚円王生誕 600 年祭を終えるにあたって～

伊是名村役場企画政策課
尚円王生誕 600 年祭実行委員会事務局
大野耕太

私たち伊是名村にとって、2015 年という年は北の松金（後の金丸、尚円王）が生まれて 600 年目という記念すべき年でした。

遡ること約 600 年。北の松金（後の金丸、尚円王）は、琉球が南山、中山、北山に分かれ各地の豪族たちによる群雄割拠が続いていた時代、首里から遠く離れた伊是名島の首見邑（現在の伊是名村字諸見）で農民の子として生まれました。24 歳まで島で暮らした後、島を旅立ち、越来にて越来王子（後の尚泰久王）に見出され頭角を現し、いったん西原に隠遁した後、臣下達に推されて第二尚氏初代国王となったと云われています。

伊是名島には北の松金（後の金丸、尚円王）に関連する歴史、伝統、文化財が数多く残されています。伊是名村では生誕 600 年目を記念し、村民を主体として、過去に行った事業、既存の事業、新たな事業に「尚円王生誕 600 年祭」の冠を付け 2 年間を通して様々な事業を行いました。

2014 年 8 月のイベント「和太鼓&ダンスパフォーマンス FS」から始まり、11 月には浦添市でだこホールにて「伊是名郷友芸能公演」、12 月には「尚円王乗馬像建立」、2015 年 3 月には金丸（後の尚円王）ゆかりの地である西原町にて村民劇 史劇「尚円王 ～松金がゆく～」を村民 100 人超で公演しました。

4 月には「公事清明祭」、5 月には「やんばる駅伝伊是名島大会」、6 月にはイオンライカム店にて「物産と観光フェア」、「サントリーカップ沖縄県マス

ターズバレーボール伊是名島大会」、7 月には首里城公園南殿にて「伊是名島の秘宝展」、東京都新宿区にて「新宿エイサーまつり」へ伊是名尚円太鼓の出演、8 月には尚円王生誕 600 年祭、「式典・シンポジウム」、「第 16 回いげな尚円王まつり」、9 月には「フェリーいげな尚円」を新しく就航し、10 月には「沖縄県立博物館・美術館 第 8 回移動展 in 伊是名島」、11 月には「いげな 88 トライアスロン大会」を行いました。最後の集大成として 2016 年 2 月に沖縄タイムスホールにて伊是名村「物産・観光と芸能フェア」を行い、多くの伊是名郷友、伊是名ファンの皆様にお越しいただくことができました。

沖縄北部の離島は沖縄本島でもまだまだ知られていない観光スポットが多く（実はお隣伊平屋島は第一尚氏発祥の地（尚巴志の祖父が伊平屋島出身！））、今後新たな観光客可能性を秘めています。

今後は村の施策として尚円王関連の事業をハード面、ソフト面から充実させていきます！

皆様！是非、伊是名島にお越しくださいませ！



民間活動紹介

しあわせまねきの会 事務局長 古謝久子

「しあわせまねきの会」では、南城市内で活動するボランティアの方々と児童生徒と共に花壇の整備を行うために、肥料や草花を購入し、生徒が自らの手で植栽する楽しみと喜びを学ぶ機会を作ることとして、「南城市花いっぱい運動～学校をきれいに～」を実施しました。

その活動にあたり、「沖縄県地域づくりネットワーク」より、花苗の購入費用として、¥40,000-を助成していただき、無事、事業を開催することが出来ました。ここにお礼を申し上げます。

本事業は、平成28年1月15日～同年3月18日の期間に、「しあわせまねきの会」を中心に南城市学習支援ボランティア、大里中学校長及び大里中学校の生徒（花植栽協力者）によって、大里中学校に花壇を作成し、景観の整備（植栽）を行う事によって、南城市の小・中学生に喜びと、みんなで力を合わせて活動することの大切さを感じ取ってもらえました。また、環境ボランティアの自発的な活動を応援することが出来、南城市内の児童・生徒に環境の良い状況を与えることが出来ました。その活動状況を以下に示します。



平成27年度まちおこし研修交流会報告

沖縄県地域づくりネットワーク事務局：桂

平成28年1月29日(金)13:30~17:30で、沖縄県市町村自治会館2階ホールにおいて、沖縄県地域づくりネットワーク主催、沖縄県後援のもと、地域づくりシンポジウムが開催されました。

現在、まち・ひと・ものづくりによって地域の新たな魅力と価値を見つめなおし、地域の活性化を図る取り組みが求められており、本シンポジウムでは、～地域資源を生かしたまちおこし～をテーマに、本会会員はもとより、広く地域づくりに取り組んでいる関係者に対し、地域づくりの課題解決に向けた県内の先駆的な事例を紹介し、共に学ぶ場となることを目的としました。当日の参加者：95名。

開会の挨拶は、沖縄県地域づくりネットワーク会長、沖縄県企画部企画調整統括監 安慶名均による本シンポジウムの趣旨を含む挨拶をいただきました。ありがとうございます。

基調講演は、「今、必要なのは固定観念の打破?!」内閣府沖縄総合事務局 総務部調査企画課 課長補佐 太田浩一氏により行われました。

「沖縄の文化・感性・気候・風土・ロケーションを活かし、沖縄人の特性を引き出し、沖縄の歴史に学び、そして本土の轍を踏むな」等を時折ユーモアを交えた講演は、聞く人を惹きつけ濃い内容の講演でした。

休憩を挟んでの事例発表は、NPO法人ハマスーキ 理事長 上原謙氏のビデオ(当日は上原氏が所要のため)による「糸満海人工房・資料館設立から現在まで」の放映が行われました。設立に至る経緯、苦労、今後の後継者の育成の必要性などについてでした。

続く、大城花咲爺会 会長 外間裕氏による「花と緑に囲まれた芸術の里づくり」では、大城自治会の特色、村の移り変わり、行政の

仕掛けと住民の立ち上がり、地域づくりの柱と区民の取組、取組の成果と評価、今後の課題についてなどを活動前と活動後の状況の写真を交え、スーシグワー美術館、ムーンライトコンサートの開催についての説明がありました。

続いて、NPO法人おおぎみまるごとツーリズム協会 理事長 宮城健隆氏による「民泊・自然体験の地域づくり」においては、農業を主体とした大宜味型体験滞在交流型の都市との交流を含めた民泊事業を主体事業として展開し、修学旅行のリピーターをつかみながら地域経済の活性化と持続可能な観光地を構築する事を目的として活動について環境保全森林保全自然保護等の活動内容を含んだ講演でした。講演の途中の動画が、うまく作動できなかったことは、事務局としての反省点です。

事例発表の最後は、コープおきなわ ひと・まち・ものづくりサポーター 内閣府認定 地域活動伝道師 石原修氏による「ピンチをみんなでチャンスに～北大東島における事例～」では、離島の現状、ハンデーをどうカバーするのか。連携を組んで問題解決する方法、障害者の労働力を活用し、支援金で障害者の島での活動費とすること。仕組みづくりの方法、ネットワークの活かし方、1次産業が権利を持つ6次産業化などの報告がありました。

休憩を挟んでの、意見交換・質疑応答では、国立大学法人 琉球大学 特命准教授、沖縄県地域づくりネットワーク運営員の 宮里大八さんがコーディネーターを務め、パネラーとして、太田浩一氏、守谷光弘氏、外間裕氏、宮城健隆氏、石原修氏で行われました。

宮里さんの巧みな進行により、講演では聞けなかった、話が多く語られました。会場の参加者からの「皆さんの子にも、今の活動をやってほしいか？」などの質問もあり、パネラーの皆さんの思いが語られました。

盛んな意見交換が行われた本シンポジウム

も、お開きの時間となりました。沖縄県地域づくりネットワーク副会長 山城定雄より、開会挨拶を頂いた、安慶名均会長、基調講演を頂いた太田浩一氏、事例発表を頂いた、上原謙氏、外間裕氏、宮城健隆氏、石原修氏、パネラーとして参加された守谷光弘氏、さらに、当日ご参加頂いた皆様へ、お礼と閉会の挨拶がありました。



開会前の会場



司会の沖縄県地域づくりネットワーク
事務局長 高平兼司



沖縄県地域づくりネットワーク会長
沖縄県企画部企画調整統括監 安慶名均



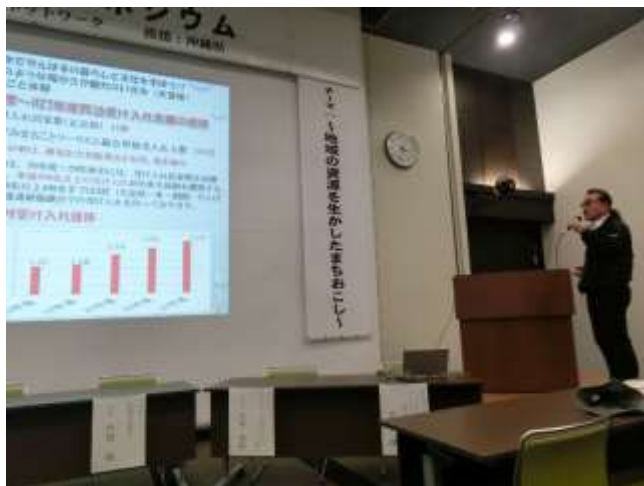
内閣府沖縄総合事務局 総務部 調査企画課
課長補佐 太田浩一氏



ビデオによる講演となった
NPO 法人ハマスーキ
理事長 上原謙氏



大城花咲爺会 会長 外間裕氏



NPO 法人おおぎみまるごとツーリズム協会
理事長 宮城健隆氏



コープおきなわ
ひと・まち・ものづくりサポーター
内閣府認定 地域活動伝道師 石原修氏



会場の様子その①



会場の様子その②

これからは、会場の参加者も含めたひな壇
トークと意見交換・質疑応答の様子です。





会場からは参加者の質問もありました。



閉会のあいさつを行う
沖縄県地域づくりネットワーク
副会長 山城定雄

「傾城 28 年度総会・交流会」開催のお知らせ

日時：平成 28 年 5 月 20 日（金） 総会：15：00～17：00 交流会：17：30～19：30

場所：沖縄産業支援センター 1F ホール 101

上記の日程で開催いたします。多数の方のご参加をお待ちしています。